

公益通報書

通報日 2017年1月10日、改定 2/19,3.21,5/24

氏名	鈴木基司	
所属	自営業	
連絡方法・連絡先	電話	046-843-2271
	メール	gutvv1@dc4.so-net.ne.jp
通報内容	①通報対象者 (部署)	理学部物理学科、素粒子理論研究室+素粒子実験研究室 職員等氏名:上記の研究者
	通報の内容 ②通報対象事実	<p>時期=1993~2017、場所=日本国内+世界各地の素粒子研究機関、<b>素粒子論完成</b>正当論文を公刊拒絶、無用研究が各国公費でも行われてるらしい</p> <p>③対象となる法令違反等:<b>詐欺による公費不正受給</b></p> <p>④通報対象事実を知った経緯:重力場が一般ゲージ場になる条件の発見;<b>1993年春</b>京都大学 prog.theo.phys へ投稿論文、不当にも公刊拒絶(審査員、九後汰一教授)、一般ゲージ場になると既に内山 &amp; Faddeev-Popov 量子化で<b>一意に作用関数決定</b>、原理上、作用関数<b>一個!!</b>から力学系情報全部が出る、実際に<b>決定的な事実整合結果複数</b>を得てる(証拠書類)</p> <p>ちなみに <b>1993年10月</b>米上院で 1,2000 億素粒子実験装置 <b>SSC</b> 中止声明</p>
	特記事項	<p>生活苦で文部省 &amp; 米国等への不正研究訴え阻止の為生活保護8万/月で買収、2003年以後自由研究が以下に公開、<a href="http://www.777true.net/">http://www.777true.net/</a></p> <p>* SSC 日本上納金 2000~3000 億円が浮いたが以下で窃盗されました、</p> <p>* JPARK 大強度陽子加速器プロジェクト, 高エネルギー加速器研究機構 建設費約 <b>1,500 億円</b> 運転・維持管理に年間約 <b>130 億円</b> が支出されている。</p>
証拠書類等	<p><a href="http://www.777true.net/GRAVITY_FIELD_as_GUAGE_one.pdf">http://www.777true.net/GRAVITY_FIELD_as_GUAGE_one.pdf</a></p> <p><a href="http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf">http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf</a></p> <p><a href="http://www.777true.net/Energy-Creation-Process-from-QED-to-QGD.pdf">http://www.777true.net/Energy-Creation-Process-from-QED-to-QGD.pdf</a></p> <p><a href="http://www.777true.net/QFTstructure1.pdf">http://www.777true.net/QFTstructure1.pdf</a></p>	
結果の通知希望	希望する	

- ※ できる限り実名での通報と「連絡方法・連絡先」(可能な限りで)の記載にご協力ください。匿名での通報の場合、事実関係の調査を十分に行うことができない可能性があります。
- ※ 氏名その他の個人情報については、窓口等から通報者への連絡、調査その他通報処理に関し必要な限度でのみ使用し、適切に保護を行います。
- ※ 「通報内容」については、通報の対象となる事実が「いつ」「どこで」「どのように」「どのような理由で」「どのような法令に違反して」生じ、又はまさに生じようとしているかを分かる範囲でご記入ください。
- ※ 「証拠書類等」とは、書面に限らず、電磁的記録媒体その他通報内容における事実の証拠となる物品を含みます。通報の際には、これらのものも提出願います。

**[1]:: 本件公益通報の科学的背景概要.**

典型例としてユークリッド幾何学はその公理体系と多数定理産出で、今日、完成された学問と見なされてる。一般に力学系(ニュートン力学=古典力学,古典電磁気学,量子力学,量子電磁力学,場の量子論(素粒子論))は作用関数(Lagrange関数)と言う物が一度定義されると、**力学系全情報はここ一つから全部一定算術で出る。**

**\* 付録1参照:**

[http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine\\_J66-LOGIC-DYNAMICS-the-Prediction-Tool.pdf](http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine_J66-LOGIC-DYNAMICS-the-Prediction-Tool.pdf)

衛星軌道計算から建設現場設計まで広く応用される力学基礎はニュートン運動方程式**一個の支配!**、作用関数からその運動方程式が導出されるので両者は数学的に等価と言うのが実情と言う事です。

**I:素粒子論完成(量子重力力学).**

筆者はこの件で素人一般に以下の様に解きます。判らずとも**一個**という話には満足するようです。力学はニュートン方程式：**力=質量 x 加速度**の方程式**一個!**、一般に力学系は**ラグランジ関数一個**が決定すれば原理上、後はそこから一定算術で全情報が得られる。素粒子論も同じでラ関数一個から決まる。そのラ関数を決めるのは以下の**二個の原理**しかない。

**1** : 内山の相互作用力を決める **一般ゲ-ジ原理(1956)**<電磁力,核での強&弱力,重力>

$$\mathcal{L}_{QCD} \equiv -c\bar{\psi}[\hbar\gamma^\mu(\partial_\mu + gA_\mu^a Q_a) + mc]\psi + icB^a\partial_\mu A^a_\mu + \frac{1}{2}\alpha^a B^a B^a - (1/2\eta)(\partial_\mu A^a_\nu - \partial_\nu A^a_\mu + gf_{bc}^a A^b_\mu A^c_\nu)^2 + \chi C^a \cdot \partial_\mu (\partial_\mu C^a + f_{bc}^a A^b_\mu C^c).$$

**2** : Fadeev&Popov の **一般ゲ-ジ場量子化固定法(1967).**

\*僅かに**最後の一項**だが、物質と真空世界の真相を明かす重大意味深がある<複合粒子双極子> 現実証拠として**物質進化過程**と模型抜きでの**宇宙創始力学(big bang から水素元素生成まで)**

注釈:

\*ラグランジ関数から一定算数法でニュートン方程式導出だから両者表現は数学的に等価。

\*量子化=粒子性と波動性の2重性具備のマイクロ素粒子論化。

\*物質進化: 最強、簡明な現実と整合する決定的証拠<Lie代数学**定理**>。  $\supset$   $\Rightarrow$  進化方向の記号、

**SO(11,1)  $\supset$  SO(11)  $\supset$  SO(10)  $\supset$  SU(5)  $\supset$  SU(3)  $\times$  SU(2)  $\times$  U(1).**

宇宙創始時の量子重力

原理核で働く **強い力  $\times$  弱い力  $\times$  電磁力**

\* 巨視的古典重力場の再現、→ ニュートン万有引力法則の古典近似式導出。

\* (量子)重力こそ全部の力の源起源(今ある物質に働く電磁力も核力もここから宇宙温度低下過程で派生した).  
重力場の等価原理(Einstein1907)=局所ローレンツ変換不変性=一般ゲージ不変性(内山1956)。そのさわり所！

(1)無重力空間での仮想的なアインシュタインの加速度中エレベタ中での思考実験

= 重力と加速度は区別出来ない、物質材料無関係に同一運動(等価原理1907)。

(2)非加速度場=一様速度V慣性座標(時計物差し)系( $c_0t, x, y, z$ )中では何れも真空光速は一定数( $c_0$ )。

$(c_0t)^2 = x^2 + y^2 + z^2$ .....光波面の球。→異なる速度座標系間の関係(ローレンツ(座標)変換)

→正しい物理法則方程式はいずれの慣性座標系でも同形式<典型例は電磁場マクスウルク>。

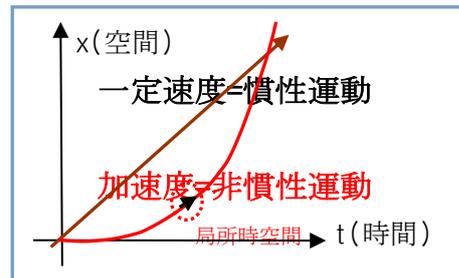
→広域ローレンツ変換不変性(広域慣性系)

(3)対偶命題=

非慣性系ならば、局所時間空間では一様慣性系と

見なせるので局所ローレンツ変換不変性(1956内山)

⇒重力場の一般ゲージ不変性表現。



$S_0(11;1)$  = 変換不変表現での Lie 代数と呼ばれる

(4)ゲージ(物差し)不変性：

長さ単位(物差し)は各国でまちまちだが。長さに関わる等式は皆、同形式。

尺度変換で等式は不変=一般ゲージ不変性(1956内山)。

(5)物質進化系列<本論が現実現象整合の決定的証拠！>

宇宙創始時の相互作用力( $S_0(11;1)$ 量子重力多数成分)が宇宙膨張温度低下過程で成分部分消滅を繰り返しながら現在の物質中で働く{(強い力, 弱い力)核力, 電磁力(化学力)}に至るまでの時系列。

$S_0(11;1) \supset S_0(11) \supset S_0(10) \supset SU(5) \supset SU(3) \times SU(2) \times U(1)$ 。

\* 名記号は Lie 代数と呼ばれる内容で、ゲージ変換不変性表現中に表出する内容。上記系列は部分 Lie 代数系列で数学定理、しかも現実物質進化に整合する。

\* で鈴木は何をしたか? = 一箇所の誤訂正と理論試運転で現実整合を証明、

量子重力理論は等価原理(Einstein1907),その数学表現(局所ローレンツ不変=一般ゲージ不変性.内山1956),

一般ゲージ場量子化(L.D.Faddeev&V.N.Popov)が創始者。但し重力場の一般ゲージ場化では局所直交座標でなければ成立しない(1993鈴木)。従来は空間歪曲いう事で一般曲線座標を使用、之では純ゲージ場化しない。

参考文献：

1)R.Utiyama,Phys.Rev.**101**(1956),1597.

2)L.D.Faddeev&V.N.Popov,Phys Lett,**25B**(1967),29.

3)M.Suzuki,Phys. Rev.Lette D,DJ6420(1997/9/19),submitted,but not published.

☺：**無から始まった宇宙**： $0 = +E(\text{物質正エネ}) - E(\text{引力負エネ})$  <全宇宙エネルギー保存法則>。

宇宙が始まる前は無=0だった、**無ならば永久に無だ**と既成常識論理ではなる、だが諸氏は一つ大間違い！  
無世界では物理法則すら無だ<法則を証明できない>。

**ならば何でもあり<無法則原理 vs 無ならば永久に無だ(現状世界法則)>**,

だが一度物質発生が起こると物理法則支配開始！

\*西欧冗句：「神が宇宙を作る前はどうかだったのですか？」、

「そういう質問者の為の地獄を作っていたのさ！！」。

\*無法則=全知全能！！,鈴木は宗教信奉者、**神聖文書啓示予言を知らないは大損！！！！**

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

<http://www.777true.net/Scientifical-Mechanism-of-Prophecy-by-Paranormalities.pdf>

## [2]:**筆者研究経緯と第一論文公刊拒絶、その後の無用素粒子不正研究。**

(1)1985年末犯罪被害耳疾患で長年のサラリマン休業化、当時物理学を復習、その中で重大(再)発見、  
之で論文公刊学位獲得と就職を目指す、生活寝食代を年金生活者の貧乏親に依存した。

筆者本来業は素粒子論とは真逆の多数原子集合を対象とした統計物理学(1986~1990),  
ここで第一原理からの**量子確率過程**と呼ばれる仕事をしている(内外学術誌公刊拒絶)。

\*これらも重大な**論文不正審査**、だが審査不正への公益通報窓口がない！！

学界に頼むのは猫に魚の留守番を頼むような愚、

この過程で有名な**ゲ-デル不完全性定理**の実態が統計現象である事に気づいた(1989)。

**日本&海外物理学界が隠蔽した物理学上の基礎事実リスト**

<http://www.777true.net/phys-hidden.pdf>

**GOEDEL 不完全性定理の確率統計現象性と汎統計学定理。**

<http://www.777true.net/Goedel-Chaos.pdf>

重力素粒子論化問題が異常に困難を窮める事情ヲ不審に思い、1993年2月、1956内山論文を読んで重力場  
が一般ゲ-ジ場になる条件発見(直交座標系)、1993/4月に京都大学 prog,theo.phys へ投稿論文、不当にも公刊  
拒絶(編集責任者=九後汰一教授(場の量子論))、以後彼とは複数回、会談する事になる。

[http://www.geocities.jp/sqkh5981g/GRAVITY\\_FIELD\\_as\\_GUAGE\\_one.pdf](http://www.geocities.jp/sqkh5981g/GRAVITY_FIELD_as_GUAGE_one.pdf)

\*題目が多少正確でない以外は計算ミスなし、正しい題目は以上にすべきだった。

公刊拒絶に関して編集者は理論が現実整合、例えば古典巨視ニュートン重力を引き出すかを問うた。

仮にそれなしでも論文としては整合している、なほ同編集者も本件完成へ寄与支援している。

1995年までにそれ以上の**複数重大事実整合結果**を得てるが、米国物理学界も公刊拒絶。

DJ6420: Quantum gravitational dynamics of  $SO(N \geq 11; 1)$  gauge symmetry as the unified  
field theory in linear coordinate. submitted **Phys.Rev.D**(1997/9/19),but not published.

当時既に親に生活依存できる状態に無く、親戚知人等に食代小金を無心する有様で仕事強行継続した。

軒並み論文公刊拒絶背景には筆者過去勤務の米(Y)HP社(現計算機メ-カ)での政治事情があった。

**米軍産複合体 CIA 企業内で日共員と関係した嫌疑とその後経過だ。**

(2)1993年秋米上院で1兆2000億円素粒子実験計画SSC中止声明,日本抛出金=2000,3000億円。

そもSSC建設当初から米は経常赤字で実態は予算問題など出ない事に気がつき、文部省と米国大使館等に著作権無断盗用で補償を迫ったが、文部省文官は話相手にもならない、米国も一切沈黙の沙汰。しつこく迫った結果か、ついには小金無心も出来ない経済封鎖に追い込まれる、本当に食うに困った、結果は民生委員勧告で生活保護申請を横須賀市申請(2003).8万/月での生活になった。

(3)学界シーズンには毎年、メール電話,直接訪問交渉等で不当研究の苦情申入れ。

目立つ所ではノベル賞小柴氏、梶谷氏と東大等で会見したが、理論が理解できない様子だった。過去には物理学界会長複数名に直訴、2007年素粒子非公式会合では5分飛び入り講演、特に2007年筆者website=[777true.net](http://www.777true.net)開始で関係者は素粒子論の原理上完成を周知のはず、  
<http://www.777true.net/BP.html>

2015年頃に、名古屋大学物理素粒子の大学院生にメル電話通知、東大院生に配下文書配布

<http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf>

専攻学生が之を読むと一発で素粒子論完成が判る。東大に結果を聞きに行くが誰にも会見できなかった。

(4)過去10年は縦波電界波発電、気候変動科学&地震科学、政治経済解析に埋没。

実質2003~2005の3年間研究で量子重力完成を見てから即足ヲ洗って他分野に転向してます。土台それはアイシュタイ-内山-ファデフ&ポポフと言う世界の大家の創業です!!!!、もう20年前仕事に今更関与を強制されるのは不愉快極みを実感、感情的にド白け、そも素粒子宇宙論は無機的で生命を実感しない、その意味で筆者それ以前放置した統計力学仕事に未練、

(5)物事の基礎根源=極限極地は**論理簡明**が働く事です。これは十分信頼に足ります。

上記記述で諸氏も察する如く、素粒子論-**論理構造体系**は**極少数原理**の内容でしかない。重力と加速度場の**等価原理**、物理量は物差しで測るが、運動方程式(物理法則)は物差し非依存(**ゲージ不変原理**)などは多少察する事ができる、力学原理が作用関数一つから決まるのも察しられるでしょう、作用関数がゲージ不変と要請するとゲージ場と物質xゲージ場(真空場)相互作用(力)が決定する(内山1956)。

\***超多体系**,化学,生物学材料科学等一般には多様可能性があつて簡単には行かない、**行けば誰も苦勞しない**。

素人を子馬鹿?にしたある研究者の**逆さまな話!!!**。

難しい言語を駆使して判らない文書にすると**素人は有り難がる**と言う文科系研究者話を聞いた事がある般若心経も然りです!!!

諸氏にも問題がある、教科書を試験用?に丸暗記、**根源原理**から論理的に**自力再構成**する作業をしない。物事を簡単に「判った」などと口走っては絶対いけない!!!、**100%自力納得**まで詰める!!!之を誰もが実践すれば日本&世界が一変する。

付録1：原理上、作用関数一個！！から力学系情報全部が出る。 2017/2/11 追加

以下有識者には既成事実として確認可能。 <☞：当初論文等の用語訂正：直交座標→局所直交座標>

(1)量子重力場(QGD)作用関数が確定するとその変分値=0 から、一般に多変数連立運動方程式導出。場{物質 spinor 場(素粒子)とゲ-ジ(ボソン)場(力を媒介する真空)}の c 数形式全運動方程式決定。  
\*QGD 温度低下宇宙創始力学過程として部分ゲ-ジ場変数消滅(SO(11, 1)→SO(11)相転移)が記述可能。  
筆者はゲ-ジ場方程式安定性判別と言う簡易方法、非線形多次元方程式は一般に求解不可能！！！！

(2)作用関数から正準形式\*)として一意に Hamiltonian=H<sub>0</sub>(自由運動エネルギー)+H<sub>I</sub>(相互作用)が決定、場変数{φ、A<sup>a</sup><sub>μ</sub>}を q 数(生成消滅演算子展開)形式に書けばH<sub>I</sub>(相互作用)から QGD 素粒子一次反応の全部が決定。だがこれは(11;1)多次元反応で観測不能、\*後日一般解説予定、

(3)H<sub>I</sub>=A<sup>a</sup><sub>μ</sub> J<sup>a</sup><sub>μ</sub>の電磁場類似形式化するので力学系の保存物理量\*)=Noether 電流(=J<sup>a</sup><sub>μ</sub>)が顕示。J<sup>a</sup><sub>0</sub>=icQ<sup>a</sup>で Noether 電荷Q<sup>a</sup>が明らかになる、之が素粒子&ゲ-ジ場ボソンを性質つける基本物理量。12x12 行列 Lie 代数表現でその対角化固有値として値が並ぶ、固有関数として素粒子 12 次元(個)。  
\*なぜ原初次元が(11;1)?、空間次元が 11 以上だと数学的病的と言う話(雑誌数理科学(号?))を聞いた、この意味で次元原理無用と思われるが原著論文を筆者未見、これは多次元多重並行宇宙をも意味!

(4)量子重力場(QGD)ゲ-ジ場対称性=SO(11,1),これから Lie 部分代数系列(定理)としての物質進化。SO(11,1)⊃SO(11)⊃SO(10)⊃SU(5)⊃SU(3)×SU(2)×U(1).

☞:この一発で標準理論QGD完成決定的!、物学界素粒子非公式会合でも黒板大文字で指摘(1997).

(5)素粒子質量公式(Higgs 粒子は無用-インチキ!! , English Pravda(ロシア)でも疑問記事).

BigBang 以後の温度低下宇宙進化過程で多数横波 gauge 場A<sup>g</sup><sub>μ≠0</sub>は消滅、だが縦波成分A<sup>g</sup><sub>0</sub>だけは定数値+0点振動(凍結場)として残留A<sup>g</sup><sub>0</sub>=[i<sup>2</sup>W<sup>g</sup>/c]+δA<sup>g</sup><sub>0</sub>、以下公式と近似でニュートン重力も出る。

$$E = -A^g_0 J^g_0$$

$$= mc^2 \phi * \phi = g c \hbar \bar{\phi} \gamma^0 A^g_0 (iG^g_0) Q_a \phi = \bar{\phi} g c \hbar \gamma^0 [i^2 W^g / c] Q_g \phi = c^2 \phi * [(i^2 g \hbar W^g / c^2) Q_g] \phi .$$

$$M = [(-g \hbar W^g / c^2) Q_g] . \dots \dots \text{spinor particle mass formula.}$$

<http://www.777true.net/Troublesome-Illusion-of-Elementary-Particle-Physics.pdf>

☞:凍結場定数=W<sup>g</sup>場は宇宙初期条件と宇宙膨張経過で依存。素粒子質量は普遍物理量ではない、

(6)参考文献：上記詳細は以下にあります。

<http://www.777true.net/Energy-Creation-Process-from-QED-to-QGD.pdf>

<http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf>

鈴木基司, 量子重力力学と超統一場論, 1993, 1999、☞:直交座標→局所直交座標へ用語訂正必要

(7)結論：实用素粒子物理量は既に判明、更に実験研究資金投与が必要とは見えない。

但しQGDの残務整理作業はあると思います。

付録2：ゲーデル完全性定理、及び同不完全性定理。

<http://www.777true.net/Goedel-Chaos.pdf>

正しい**決定論命題は証明可能**で、正しい理論は一つであり(完全性定理)、但し数論を含む**一般理論(公理体系)**には非決定性が存在(実態は**数学的特異点性**( $\sim 1/0$ )=情報喪失に由来する**確率統計現象**),原因を一つに既定しても結果が多岐になる(**不完全性定理**)、**標準理論としての量子重力完成**だから、**超準理論としての弦理論**は誤りに成る!!  
Higgs 模型無用だから、それに由来する素粒子実験は無意味になる、宇宙創始ビッグバン理論も本件 QGD (公理体系)での相転移力学として模型仮説無用で証明された。但し**宇宙創始原論理**に関して QGDは何も述べない。

☞：**無から始まった宇宙**: $0=+E(\text{物質正エネ})-E(\text{引力負エネ})$ <全宇宙エネルギー保存法則>。  
宇宙が始まる前は**無=0**だった、**無ならば永久に無だ**と既成常識論理ではなる、だが諸氏は一つ大間違い!  
無世界では物理法則すら**無だ<法則を証明できない>**。

**ならば何でもあり<無法則原理 vs 無ならば永久に無だ(現状世界法則)>**,

だが一度物質発生が起こると物理法則支配開始!

\* 西欧冗句:「神が宇宙を作る前は どうだったのですか?」、

「そういう質問者の為 の地獄を作っていたのさ!!!」。

\* 無法則=全知全能!!、鈴木は宗教信奉者、**神聖文書啓示予言を知らないと大損!!!!!!**

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

<http://www.777true.net/Scientifical-Mechanism-of-Prophecy-by-Paranormalities.pdf>

上記論理を知ると宇宙謎への熱意も一気に冷え込む(Small-Shrinking !!),  
他方で宗教本物に世界は一斉に目覚めねばならない(神=正義真実博愛)、**悪魔=不正虚偽憎悪!!**  
宇宙ももういい加減に、**地上気候変動地獄間じか事情**を直視せねばなるまい。虚飾だけのノベル賞などの煽てに踊らされてはならない<むろん、真に正解の研究者もおられますので、>。

付録3：国内一般研究者の公的供与研究資金額

100万円程度~1億円が相場?、だから素粒子実験施設 1500億-年間運転費 130億は**多数研究潰し**、

**平成28年度競争的資金制度一覧 - 内閣府**

[http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/kyoukin28\\_seido\\_ichiran.pdf](http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/kyoukin28_seido_ichiran.pdf)

**競争的研究資金マニュアル - 芝浦工業大学**

[http://www.shibaura-it.ac.jp/educational\\_foundation/compliance/r7u3rf0000002qtx-att/r7u3rf0000004fbd.pdf](http://www.shibaura-it.ac.jp/educational_foundation/compliance/r7u3rf0000002qtx-att/r7u3rf0000004fbd.pdf)

付録4：宇宙生誕の創始力学概要<思想宗教論で必用>、☞：20年前仕事で詳細を忘れた。

素粒子統一論完成とは宇宙創始時の力(相互作用=原始量子重力)が判ったと言う事であり、宇宙創始力学を説明できなければならない、筆者(九後氏も関与)は遣ったので概要紹介。

(1)宇宙創始原点は不可知=情報量偏差値∞大。(エントロピ S=∞ではまずい)。

\*筆者が最初期に書いた物理論文エントロピ揺らぎ=分散値に発散特異点存在を証明。

Lブリルアンの情報と科学が参考になった。∞=ΔS=ΔE/T. →ΔE=∞.

(2)時空特異点性 Δt=Δx=0 と不確定性原理 ΔEΔt~ħ. →ΔE=±∞(場力学初期条件)

(3)正エネルギーだと S0(11;1)ゲージ場成分方程式は安定で流産宇宙で無に戻る。

(4)負エネルギーだと S0(11;1)ゲージ場成分方程式は不安定化で爆発膨張宇宙になる。

問題の初期負エネルギーはゲージ場横波成分(非物理的な反 herimite 場)が担う。

(S0(11;1)から残留 S0(11)成分を引いた残り成分)自己初期優生が自己消滅を誘導。

\*理論構築での設定時空定義(x<sub>μ</sub>≡[ict, x<sub>1</sub>, x<sub>2</sub>, ..., x<sub>N</sub>])→(7)参照。

この古典的記法のみが反 herimite 場を導出、通説の tensor 記法では出ないだろう！！

最終的に負エネルギーはゲージ場縦波成分移行、その過程で S0(11)に相転移。

通常ゲージ場横波成分(物理的 herimite 場)は正値エネルギー密度に限る。

(5)時間経過の中で 0 = +E - E のエネルギー保存法則を達成せねばならない。その為に

正エネルギー創生、横波成分ゲージ場対創始反応で粒子反粒子を創生。→(8)参照。

(6)水素元素創生(M. Yoshimura(1978)の陽子崩壊反応の逆過程)。

<http://www.777true.net/img008-Quick-Guide-to-Quantum-Gravitational-Dynamics.pdf>

<http://www.777true.net/Energy-Creation-Process-from-QED-to-QGD.pdf>

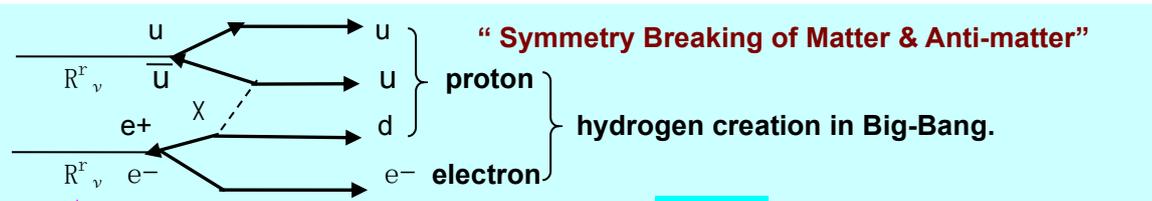
\*About history of this universe<initial hot universe to cold one at now> .

Only initial condition of superior iG<sup>g</sup><sub>μ</sub> than R<sup>r</sup><sub>ν</sub> can cause **Big-Bang** creation this universe

In phase transition of S0(N;1)→S0(N=11). Then R<sup>r</sup><sub>ν</sub> increased explosively(**BIG-BANG**)

for positive energy creation toward **matter creation**<hydrogen creation by pair one>.

\*M.Yoshimura,Phys.Rev.Let,41(1978),281



↑ + E      — E

$$U = [(E^r_j)^2 + (H^r_k)^2 - (E^g_1)^2 - (H^g_m)^2], \leftarrow [(E^r_j)^2 + (H^r_k)^2 - (E^g_1)^2 - (H^g_m)^2]$$

growing in S0(N=11) ← S0(N;1)

Initial superior **BIG-BANG**.

While other iG<sup>g</sup><sub>k>0</sub> were vanished, however only longitudinal component iG<sup>g</sup><sub>0</sub> could weakly survive. The last stage of temperature decreasing toward T→0 in this universe, also transversal gauge field R<sup>r</sup><sub>k>0</sub> became weakened. After all weakend but massively survived

iG<sup>g</sup><sub>0</sub> had become **universal attraction force** of macro gravity field of negative energy = - E. iG<sup>g</sup><sub>0</sub> also act to cause **mass** mc<sup>2</sup><positive matter energy = + E> that establish 0 = + E - E.

☞: 聖書指摘如く、始めに光(ゲージ場)ありき.

物質反物質対称性破綻反応の M. Yoshimura は日本人研究者と思われるが所在経歴不明??、

(7)SO(N=11;1)localized Lorentz invariant and anti-hermite field  $\{iG^{0k}_0, iG^{0k}_1\}$ .

$$x_\mu \equiv [ict, x_1, x_2, \dots, x_N], dx'_\mu \equiv [\delta_{\mu\nu} + \varepsilon_{\mu\nu}(x)] dx_\nu \leftrightarrow \varepsilon_{\alpha\beta} = -\varepsilon_{\beta\alpha}$$

$\varepsilon_{\mu\nu} = (\varepsilon_{01}, \dots, \varepsilon_{0N}) : (\varepsilon_{12}, \dots, \varepsilon_{N-1N})$ imaginary; real	$A^{\alpha\beta}_\mu = \partial_\mu \varepsilon_{\alpha\beta} \equiv \{iG^g_\mu, R^r_\mu\} \equiv A^a_\mu$ $\gamma^\alpha \gamma^\beta / 2 = -\gamma^\beta \gamma^\alpha / 2 = Q_a$
$iG^{01}_0, \dots, iG^{0N}_0$ , (longitudinal) $\rightarrow$ survive	$R^{12}_0, \dots, R^{N-1N}_0$ , <imaginary>
$iG^{01}_N, \dots, iG^{0N}_N$ , (transversal) $\rightarrow 0$ .	$R^{12}_N, \dots, R^{N-1N}_N$ ,
Anti-hermite <non-closed algebra>	hermite <SO(N)closed algebra>

☞: The most singular feature of QGD is emerging none Hermite field  $\{iG^{0k}_0, iG^{0k}_k\}$ .  $iG^{0k}_k$  are **imaginary variable** and realizing negative energy only in **instantaneous Big-Bang** the **virtual process** of  $\Delta t \Delta E = \hbar$ . However real variable of **longitudinal**  $\{iG^{0k}_0\}$  was to be weakened, but to survive as **universal attraction force** at last stage of stationary state.

\* **w suffix convention** ( $a \equiv k1$ ) #  $iG^g_\mu = N-1$ , #  $R^r_\mu = N(N-1)/2$  <see table>.

$$\equiv \{g \equiv 01, 02, \dots, 0N, r \equiv 12, 13, \dots, 1N, 23, 24, \dots, 2N, 34, 35, \dots, N-1N\} \equiv (a).$$

$$* Q_{a(k1)} = \gamma^k \gamma^1 / 2, \quad * * \{A^{\alpha\beta}_\mu, B^{\alpha\beta}_\mu, C^{\alpha\beta}\} = -\{A^{\beta\alpha}_\mu, B^{\beta\alpha}_\mu, C^{\beta\alpha}\}.$$

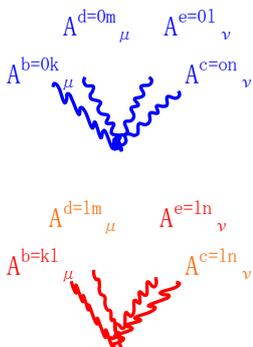
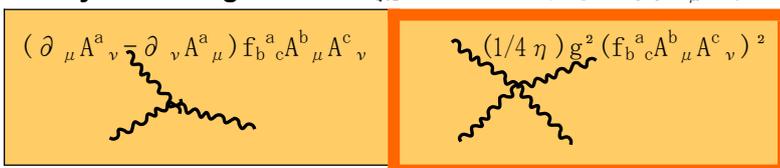
$$* SO(N:1) \text{ generator} : [Q_{a(k1)}, Q_{b(mn)}] = f_{a(k1) \quad b(mn)}^{c(1m)} Q_{c(1m)}; f_{kl \quad mn}^{1m} = \delta^{1m}.$$

(8)反 hermite 横波ゲージ場 ( $iG^{0k}_\mu > 0$ )、対創始用 hermite 横波ゲージ場 ( $R^{k1}_\nu > 0$ ) 自発創始反応 (2017/2/20)、原初宇宙は物質  $0 \rightarrow (9)$  で且つ負エネルギー過剰となれば、それを担うは  $iG^{0k}_\mu > 0$  しかない(極短時間仮想過程)。水素元素合成の基になる対創始には  $R^{k1}_\nu > 0$  が必用、何れも自発創始反応が以下如く存在。

$$\mathcal{H}^I_{QGD}(4G) \equiv (1/4 \eta) g^2 (f_{bc}^a A^b_\mu A^c_\nu)^2.$$

$$* (\partial_\mu A^a_\nu - \partial_\nu A^a_\mu) f_{bc}^a A^b_\mu A^c_\nu \text{ はうまくいかない}$$

$$* \text{Feynman Diagram of } \mathcal{H}^I_{QGD}(4G) \equiv (1/4 \eta) g^2 (f_{bc}^a A^b_\mu A^c_\nu)^2 = (1/4 \eta) g^2 (f_{bc}^a A^b_\mu A^c_\nu) (f_{de}^a A^d_\mu A^e_\nu).$$



Lie 代数(生成元)と結合定数 f の定義。

$$* SO(N:1) \text{ generator} : [Q_{a(k1)}, Q_{b(mn)}] = f_{a(k1) \quad b(mn)}^{c(1m)} Q_{c(1m)}; f_{kl \quad mn}^{1m} = \delta^{1m}.$$

$$f_{bc}^a \equiv f_{kl \quad mn}^{1m} = \delta^{1m}.$$

実現する  $iG^{0k}_\mu > 0$  反応  $f_{k0 \quad 0n}^{00} = 1$  ;

実現する  $R^{k1}_\nu > 0$  反応  $f_{kl \quad 1n}^{11} = 1$ .

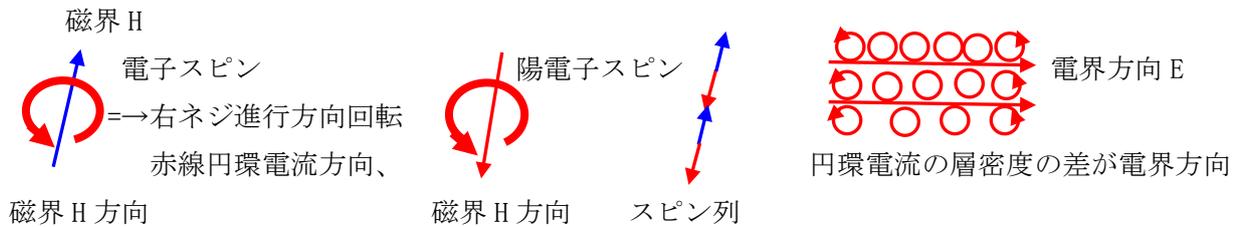
\*4 個の場演算子積中  $\mathcal{H}^I_{QGD}(4G)$  には **4 個の生成演算子積** が並ぶ項がある。  
真空に作用して gauge 粒子 4 個を生成する。

(9)ゲージ場は物質でない(2017/2/20)、

U(1)ゲージ場は電磁場(横波電磁界=A<sub>k>0</sub>と縦波電界=A<sub>0</sub>),通常前者は光も含む物で粒子~物質と思いがちだが、非物質=真空(偏極)の運動状態である事を以下に模型例で示す。然るに真空0=+a-aで物質(+a素粒子)と反物質(-a素粒子)が対充満した双極子場と言う模型を採用する。

ゲージ場は物質ではないが、物質(素粒子と反粒子)を対創始反応で叩き出す事が出来る。

(a)横波電磁界=A<sub>k>0</sub>=電子陽電子スピン(円環電流)整列場。



(b)縦波電界=A<sub>0</sub>=電子陽電子電荷整列場(双極子密度場)。

電界方向で真空偏極双極子列が起きる。密度波動場として空間伝播する。



(c)一般ゲージ場も Maxwell 型方程式(数理科学)が成立するといわれ多色な電磁場=A<sup>a</sup><sub>μ</sub>.

電荷が一般ネ-タ電荷に拡張される。ネ-タ電荷運動が上記電磁場同様に機能するのだろう。

$$[\square - g^2 (f_a^c{}_b A^b{}_\nu)^2] A^a{}_\mu \equiv J^a{}_\mu = \eta g c \hbar \bar{\psi} \gamma_\mu Q_a \psi$$

$$+ g f_b^a{}_c \partial_\nu (A^b{}_\mu A^c{}_\nu) + g^2 f_a^c{}_b A^b{}_\nu (\partial_\mu A^c{}_\nu - \partial_\nu A^c{}_\mu) + g^2 f_a^c{}_b A^b{}_\nu (f_{d \neq a}{}^c{}_e A^d{}_\mu A^e{}_\nu)$$

$$+ \eta \chi g f_a^c{}_b C^b \partial_\mu \bar{C}^c.$$

上記場方程式から物質場  $\phi = 0$  でも自己集团的励起運動する。

付録5：公益通報7大学(管理者(文官)と研究者)の応答実情の中間報告。

管理者の初期戸惑いが圧倒的、あのノーベル賞多発でしかも素粒子論と聞けば萎縮は当然だろう。だが事情説明が通じると背景政治的実情がちらつく、混乱してる模様だが、.....

(1)最も研究者数と附属研究施設を抱えるだろう東大だけは何と**学外者通報は非受理(撤回要求)**、東大は国立大学総予算の1割を占有と聞く。

(2)最初の一発を除き関係研究者との電話交信が不可能、電話口に研究者が出ない。

最初の研究者は**作用関数完成経緯**を聞く途上で電話切断、益川教授研究所は電話に出ない。

(3)管理者は日を置いて説明を持続すると話を聞く姿勢を示すが、研究者との交渉経緯を聞くと否定。

(4)管理者は**検察官機能**がない、助言研究者補助を提案してる。素粒子専門家以外でも本件が判る。

特に**統計力学理論屋**は最善、一般に物理素養を備えれば**作用関数概念**は周知、

(5)今後は管理者補佐になる**他分野助言研究者**が成否を握る、仮に検察直説訴訟でも必要になる。  
公的研究資金を仰ぐ**他学会多数関係者**に訴えが必要だ。

(6)**素粒子部門研究者集団**は**学界会合**(素粒子非公式会合、学界講演質問時間)で**鈴木訴え**を聞いている。

1997年東邦大学素粒子非公式会合臨時発言、2010岡山大米谷教授の超弦理論研究史質問時間、

2015仙台梶谷氏ノーベル賞者講演質問時間、**事前談合で肯定意見皆無は悪質**、

ノーベル賞小柴氏個人とも東大で会見陳情したが理解できなかった模様だ。

**正当理論存在を知らずしての無用研究継続と言う言い逃れは確実に嘘になる!!!**

特に2007年以後筆者WEB(777true.net)で物理学情報は全面公開されてる。

本件発端1993頃の筆者接見関係者周辺では完成を認知して**研究分野転向者**が複数。

(7)筆者は内山博士**一般ゲージ場論論文**を取寄せ、2ヶ月で重力場の一般ゲージ場化を証明(1993)。

論文投稿が4月、半年後10月に**1兆2000億米素粒子計画中止**と言う時間テンポを考慮、

よくも格も不毛研究が継続できるのか全く理解不能だ。米国超弦理論研究者Kaku Michio氏は本業外のアルバイトでよくマスコミに登場する、

(8)研究者能力と倫理姿勢&犯罪心理を良く認識すべきだ。彼等メンタルでの**補佐医師**が必要?!

素粒子研究は実用性が基本的に皆無。

(9)筆者は執拗に**睡眠妨害行為**に面して脳力身体不調を困ってる(**無法米軍基地横須賀**)。

1993/7暴漢2名スタンガン襲撃で一時平衡感覚障害と**一部記憶障害後遺症**を被った。スタンガン記憶喪失は**理工系高学歴者集団オーム**が頻用した事で有名。昨年半年は抗生物質の非適正使用で皮膚病拷問状態に瀕した。留守自宅荒らしは毎日だ。現日本はガレーノ指摘の**逆さま世界!!**、悪魔支配世界。

1993から10年間は本当に食うに困った状態で本件の訴える手段がなかった。生活保護者化

2003,2007web作業等没頭で手を抜いてしまった。本件は米国総額12000億円素粒子実験装置建設を無用に、日本供出金2000~3000億を無用にしたが筆者には**報酬0は不当だ**。

(10)本件以後(前)、**筆者開発ならば**実用有用科学も**無視**は更なる**政治行政生産損害**に作用してる!!!。

<http://www.777true.net/Math-Physical-Science-Library-List-in-777true.net.pdf>

非平衡統計力学(量子確率過程力学)、論理学-神学、常温核融合理論、地震電磁気学予知法(電荷暗黒穴)、電離層変調地震兵器HAARP原理、注水地震理論;0次元模型地温度模擬、北極海水融解模型、流体力学カオス、気候巨視揺動、経済回路網力学、縦波電界波発電理論、

**金と人が集まれば**より大きい仕事もやれると自負します。

付録6：正準量子化原理と一般ゲージ原理<追加>.

<http://www.777true.net/CANONICAL-QUANTIZATION-and-GENERAL-GUAGE-Principle.pdf>

量子場論(素粒子論)は少数公理的に、**単純**厳格に建立可能な事を以下に示す。遣る事は  
**2原理からの Lagrangean の建立**、一度完成すればそこから全部情報が出るのが力学。

付録7：公益通報7大学(管理者(文官)と研究者)の応答実情の中間報告(2回目 2017/5/24日)。

名古屋大学からは郵送文書として2/28 式申し立て拒否解答、東工大は電子メルで同様。  
東北, 筑波, 京都, 大阪は答申時の電話会談のみで、査問会開催通知は無いチュウブラ状態です、  
主犯格の**東大**だけは外部からの通報を受け付けない特異大学です、

今回報告は近日に至って妨害が始まってきた事です。

自宅近辺で騒音を伴う長期工事開始の突然通告、一年前からの計画だと言う。工事延期を求めると  
理由証拠の書面が欲しいと言い出すので本件訴状一部の写真をUSB コピさせました。今後自宅作業  
(電話&CPU 作業と通信)は困難化しそうです、

実は本日、**検察上申訴状&添付資料一式の控え書類**と**医療訴訟書類**が自宅から紛失、後者は完全  
オリジナル情報喪失、これは通常泥棒で無いです。それ以前に**10年間の仕事集積=USB, HDD 複数**の  
情報が全く異変してます。控えが無いので証明仕様が無いですが、満タンであるべきホルダ空が  
頻発です、近時はシツコイ騒音妨害も頻発(騒音-盗難では過去に何度も警察通知だが検挙皆無)、  
**J P A R K素粒子加速器は年間運転経費 130 億円**ですから安い話で無い訳です。

今後の警察の出方が見ものです。

今後はネット報告が難しくなる可能性があります、  
理屈で負けると無法遣り放題と言う事です。

昨日、**共謀罪が強行成立!**、過去にもここでも警察無法を言い出すは恐怖宣伝お手伝い、筆者は警察の  
犬になる事です、国民が自己保身裏切りになるか、**団結正道**にたつかの岐路を問います。